

第10期研究費部会における関連事業の有識者等との意見交換の概要 －各事業及び大学等に期待すること－（案）

- 今回実施した関連事業の有識者等との意見交換については、平成31年1月に科学技術・学術審議会学術分科会研究費部会（以下「本部会」という。）が取りまとめた「第9期研究費部会における審議のまとめ」において、今後の検討課題の一つとされた「(4) 科研費を中心とした学術研究を支える研究費制度の総合的観点からの検討」のため、3回にわたり行ったものである。
- 意見交換時には、各事業が現行制度ではできないから他事業に期待するというのではなく、現行では難しい点についても、
 - ・全体としてあるべきファンディングの姿にするため、自制度として及び科研費としてどういう検討をすべきか、
 - ・関係事業でどういう協力ができるか、
 - ・事業の棲み分けよりも全体として多様な学術を支えるためにどうしたらよいか、
 - ・分野の違いを考慮すべき点（国際共著論文、他分野・他事業との連携等）等に留意し、各事業の枠にとどまらず、全体を俯瞰して議論することを念頭に置いて行った。
- 本概要は、意見交換時の主な意見等を踏まえ、本部会として「各事業及び大学等に期待すること」について、1) 研究費に関すること、2) その他の事項に分けて整理したものである。各事業の審議会等において既に検討を始めているものもあるが、引き続き、具体的な方策等の検討に活用していただきたい。

1. 戦略的創造研究推進事業（新技術シーズ創出）に期待すること

1) 研究費に関すること

- ・研究の継続性、多様性を支える観点から、一定規模の研究を戦略事業で支援できるようにするための戦略事業の充実。
- ・戦略目標の策定にあたって、科研費関係者等との情報交換の強化や戦略目標の大きくくりに化等の改善の推進。(※1)
- ・科研費と戦略事業は、それぞれの制度の目的を明確にしつつ、基本的には各制度の中でも継続性を担保する仕組みを検討。(※1)

2) その他の事項

- ・審査方法に関する科研費関係者との情報交換の強化。(※1)

2. 国際交流事業に期待すること

1) 研究費に関すること

- ・科研費で実施した国際共同研究の成果をさらに発展させる、組織単位での国際共同研究を支援する仕組みや戦略的なマッチングファンドの充実。

2) その他の事項

- ・国際共同研究の特性を踏まえた評価の在り方の検討。(※3)
- ・海外での研究活動支援の充実、支援人材の育成。(※2)
- ・外国人招聘において、将来的に国際共同研究に繋がる発展方策の検討。(※2)
- ・イノベーションにつながる多様性確保のための国際化の推進。(※3)

3. 若手研究者育成関連事業に期待すること

1) 研究費に関すること

①ポストドクを含む若手研究者に関すること

- ・若手研究者が自主性に基づき研究できる研究環境の整備（研究設備の整備等）。(※2)
- ・研究者の研究時間を確保するための支援策（研究支援者の雇用等）の充実。(※2)

2) その他の事項

①ポストドクを含む若手研究者に関すること

- ・「特別研究員事業（PD）」及び「卓越研究員事業」の改善・充実。
- ・任期付きのポストドクが任期終了まで研究に専念できるような雇用期間の設定、任期の長期化の検討。(※2)
- ・優秀な若手研究者のテニユアポストを増やすための取組の充実。(※2)
- ・若手研究者が自主性に基づき研究できる研究環境の整備（メンター制度の充実等）。(※2)

②博士課程学生に関すること

- ・優秀な博士課程学生に対する奨学金制度等の充実。(※2)
- ・ティーチング・アシスタント（TA）制度の活用による博士課程学生の経済的支援やインターンシップの充実。(※2)

- ・博士課程修了者のキャリアパスの明確化。(※2)
- ・研究関連人材の育成。(※2)

③博士課程に進学するまでの学生に関すること

- ・優秀な学生が博士課程に進学するための支援の充実。(※2)
- ・博士課程修了者のキャリアパスの明確化。(※2) (再掲)

4. 国立大学法人等制度に期待すること

- ・寄附金に対する税制改正や研究を行いやすくするための規制緩和。

5. 大学に期待すること

1) 研究費（研究環境整備を含む）に関すること

- ・科研費の不採択者に対する「惜敗支援」の導入。
- ・間接経費の有効活用。
- ・研究者の事務負担等を軽減するための研究支援者の雇用や事務職員の能力向上。
- ・共同研究費の使い勝手をよくするための契約条件の検討・交渉。

2) その他の事項

- ・若手研究者育成のためのメンター制度、チューター制度等の充実。
- ・若手研究者及び博士課程学生の育成等。(上記「3. 若手研究者育成関連事業に期待すること」の※2関係)

6. 産業界（企業）に期待すること

- ・共同研究費や寄附金の拡充。
- ・共同研究費の使い勝手を良くするための契約条件の検討・交渉（再掲）。
- ・博士課程人材育成に関する支援。

7. 関係府省及び研究機関に期待すること

- ・研究の特性を踏まえた、研究者の適切な労務管理の在り方の検討・交渉。

注) ※1は、他事業にも関連する事項。

※2は、大学における自主的な取組も期待される事項。

※3は、他事業及び大学等における取組も期待される事項。